



心がジンとした「音楽集会」1年生

今日17日(木)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、1年生が合唱で、「はる なつ あき ふゆ」と合唱「とんくるりん ぱんくるりん」を披露してくれました。合唱では、歌うことが大好きな1年生が、身体を動かしながら音楽を楽しんでいました。また、楽曲全体の気分を感じ取って歌おうとする姿勢がとてもよかったです。合奏では、「うん たん たん」の3拍子のリズムの特徴を、鍵盤ハーモニカやタンブリン、トライアングルなどの楽器を使って演奏しました。ダンスも取り入れて、3拍子を感じたり、強い拍弱い拍を楽器の音で表現したりしてくれました。

感想交流では、3年生が「『🍏 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、皆で力を合わせると素敵な演奏ができると思ったからです。」、5年生が「『🍏 帯西グリーン』の心を感じました。理由は、1年生が全員団結していたからです。5年生も負けられないなと思いました」と感想を述べていました。その感想のお返しに1年生が「『🍎 帯西レッド』の心を感じました。一生懸命できて、ふらふらせずに演奏することができたからです。」と感想交流を締めくくってくれました。音楽委員も、「一年間の振り返り」などで集会に花を添え、最後に委員長から「私は一年間を通して『🍌 帯西イエロー』の心が伸びました。みんなで協力しながら、ピンチの時もみんなで声を掛け合いながら、集会を成功に導くことができたからです。」と述べ、心がジンとし、「🍌 帯西ブルー」の心を感じた朝の活動となりました。



今日は何の日? 「天使の囁き記念日」

朝からテレビを観ていると、「今日は『天使の囁き(ささやき)記念日』です。」という声が聞こえてきました。この耳ざわりのいい名称ですが、「天使の囁き」とは、マイナス20℃以下になると空気中の水蒸気が凍ってできる氷の結晶「ダイヤモンドダスト」のことだそうです。



1978年(昭和53年)のこの日、北海道幌加内町母子里(ほろかないちょうもしり)で、気象庁の公式記録の対象から外れていたため非公式ですが、国内最低気温のマイナス41.2℃を記録したそうです。これにちなみ、同町の「天使の囁き実行委員会」が1994年(平成6年)に制定し、記念日は「天使のささやきの日」の名称で、一般社団法人・日本記念日協会により認定・登録されたそうです。ちなみに、公式の日本最低気温は、1902年(明治35年)1月25日に北海道旭川市で記録されたマイナス41℃だそうです。熊本に住む私たちには想像もつかない世界ですね。